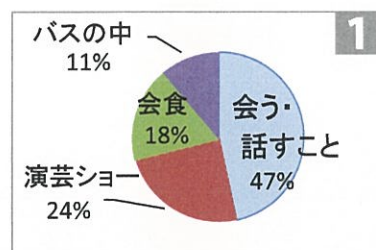


# バス旅行のアンケート結果

会員所在地	人数
北海道	1
埼玉県	4
千葉県	2
東京都	7
神奈川県	3
石川県	1
岐阜県	2
静岡県	2
愛知県	8
滋賀県	6
京都府	110
大阪府	27
兵庫県	14
奈良県	3
岡山県	2
山口県	1
高知県	1
福岡県	1
	195

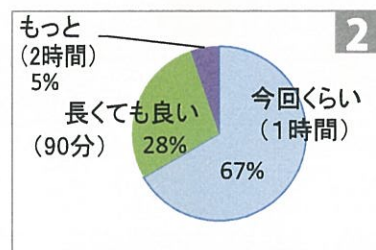
## 出會いたい・話したい。交流を望む声が多く寄せられました。

春のバス旅行にご参加いただいた皆様にアンケート調査にご協力いただきました。お一人おひとりの声を集めた集計結果は以下のとおりです。

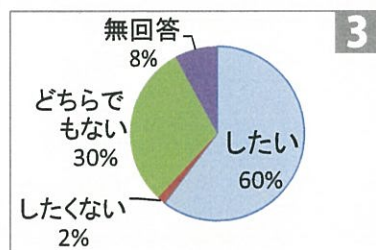


158名参加された中で、「ふるさと高齢者」としてご回答いただいた63名の方のアンケート結果の内、主なものを円グラフで表してみました。

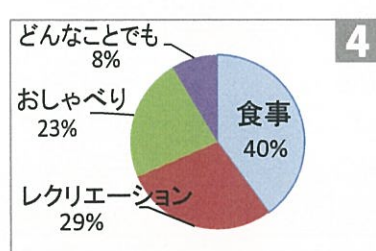
まず、81%の人が「楽しかった」と回答されました。楽しかった内容を分類したものが、円グラフ 1 です。「会うこと・話すこと」が一番多く、「演芸ショー」、「食事」と続きます。「久しぶりに懐かしい人と出会う話しに花が咲いた」「ひょっとこ踊り、勇気ある出演に乾杯、花笠音頭は華やかで元気をもらった」などの声がありました。



2は、バスの乗車時間の希望をお尋ねしたもので、「今回くらい(1時間程度)」、「長くても良い(90分程度)」に多くの回答がありました。



3は、地元で支部単位の交流会(支部活動)をしたいかお尋ねしたものです。60%の人が「したい」と答えられました。



最後に、4は、支部活動で、どんなことがしたいかお尋ねしたものです。「食事」が40%と一番多く、「レクリエーション」、「おしゃべり」と続きます。「一緒に弁当を食べたい」「お互いに近況を話したい」「他地区と合同でおしゃべり会がしたい」等の声がありました。他にも「参加者の多い少ないにかかわらず会を持つこと」「一人でも多くの方が参加できますように、お声掛けさせていただきたい」「もっと大勢の人に入っていたいただきたい。呼びかけます」等、この会の発展を願う声がありました。

### 入会方法

ふるさと綾部の老人を守る会では、新規会員を募集しています。入会要件は、ふるさと綾部に高齢者(親)が居住し、扶養義務者(子ども)が同一自治会を除く地域に居住している場合で、この会の趣旨に賛同される方が対象となります。高齢者(親)の年齢は、70歳以上とし、ご夫婦の場合は、どちらかが70歳になっておられればOKです。年会費は高齢者(親)お一人につき2,000円です。入会を希望される方は、地域の民生児童委員または綾部市社会福祉協議会内ふるさと綾部の老人を守る会事務局(電話0773-43-2881)までご連絡ください。

### 編集後記

今年2月は5年ぶりの大雪に見舞われ、奥上林の老富町で102cmの積雪。実は、地域の中で雪かきの助け合いが多く行われていました。降雨量の多い季節になり、皆様の安全を願っています。

【編集】ふるさと綾部の老人を守る会運営委員会  
 【発行】社会福祉法人 綾部市社会福祉協議会  
 623-0012 京都府綾部市川糸町南古屋敷5-1  
 綾部市福祉ホール内  
 電話 0773(43)2881 fax 0773(43)2882  
 e-mail: info@ayabe-shakyo.or.jp

# ふるさと綾部の80 vol. 80

## 老人を守る会

ニュースレター(2017.7)



“参加者の出番豊富な舞台”  
華やかな演芸ショー

ふるさと高齢者が一堂に会する恒例の春のバス旅行を4月12日(水)に開催し、158名の参加がありました。企画にあたっては、ふるさと高齢者(親)の代表者等で構成する運営委員会で話し合い、ホテルでの会食と文殊堂周辺の散策する行程を考えました。

宴会場では参加者自らが出演する演芸ショーを行い、「ひょっとこ踊り」「花笠音頭」「カラオケや合唱」等の出し物で大いに盛り上げていただき、会場から大きな拍手が起こりました。

廣瀬泰千運営委員長からは「一人暮らしをしているとなかなか外出もできないが、こうしてワイワイ旅行することで認知症予防にもなる。民生委員さんにごんばってもらっているから、この会は成り立っている」と喜びの言

葉がありました。

参加いただいた皆様、お世話になった高齢者家庭連絡員の皆さま、ありがとうございました。

また来年、皆様元気に再会できますように。

### ＜参加者の感想より＞

- ・久しぶりに歌も歌って心がなごみました。
- ・バスで他地区の方と話せてよかった。
- ・みんなの元気をみられて何よりのお土産です。
- ・新しい民生委員さんがよくわかり交流ができてよかった。
- ・民生委員さんから声をかけていただきました。久しぶりにうれしく思いました。

「平成29年度 春のバス旅行報告」  
天橋立宮津ロイヤルホテル(宮津市)

## 支部活動が盛り上がった一年

平成28年度ふるさと綾部の老人を守る会事業報告

平成28年度、ふるさと綾部の老人を守る会は、運営委員が中心となり、会員やふるさと高齢者の声をもとに取り組みを進めてきました。特に、身近な地域での支え合いや顔の見える関係を求める声に対して、綾部地区で初めての交流会を行うなど、支部活動が盛り上がった一年でした。

また運営委員会でワークショップを行ったり、正副運営委員長会議の開催回数を増やしたり、支部活動の企画会議を重ねるなど、会の発展に向けて積極的に話し合った年でもありました。

主な事業、活動の結果は次のとおりです。

### 《主な活動》

#### ●運営委員会の開催

4/4、6/28、2/2

#### ●正副委員長会の開催

6/20、1/26

#### ●交流事業

- 春のバス旅行  
(4/12 サンホテルやまね(小浜市):182名)
- あやべ寄席(2/5 I・Tビル:82名)

#### ●支部活動

- 中上林支部(6/5 中丹文化会館:20名)
- 山家支部(6/22 三和荘:44名)
- 綾部地区合同(10/7 清山荘:38名)
- 口上林支部(10/28 文殊堂周辺(宮津市):14名)

#### ●会報の発行

78号(7月)、79号(2月)

#### ●その他

- 傘寿のお祝い(13名)
- お見舞い(9名)、香資(3名)
- 入会(23名)、退会(27名)

## お知らせ

### 親と離れて暮らす 会員のみなさまへ

こんな時、綾部市社会福祉協議会までお尋ねください。

- 親がだんだん家事が出来にくくなってきた。食事を配達してくれるところはありませんか？
- ホームヘルパーに来てもらおうと思ったらどこに相談したらいい？
- 介護保険制度など利用するときどこへ相談に行けばよいか。
- 健康体操(介護予防)の教室が知りたい。

土日に帰郷された時、専門機関の相談窓口が閉まっていたり困ることもあると思います。まずは一度、お電話にて社会福祉協議会までご相談ください。

綾部市社会福祉協議会 0773-43-2881

### 登録を進めています あんしんカード

いざという時に備えて、家族の緊急連絡先など必要な情報をあらかじめ登録し、緊急時にその情報を利用して適切な対応を行うための仕組みです。



綾部市では市、民生児童委員協議会、社会福祉協議会の3者で取組を進めています。

災害時には「災害時要援護者支援台帳」として自治会で活用されます。

登録を希望される方は、担当地区の民生児童委員または綾部市社会福祉協議会までご連絡ください。

写真は、登録用紙を封入し自宅の冷蔵庫に保管するための容器です。

## ふるさとクイズのコーナー

### 「同じひらがなペア消し」

#### 【解き方】

左右のひらがなを見比べて、同じひらがなを消していきます。全部消したあと、余ったものを教えてください。

#### 応募方法

はがきにクイズの答えと住所・氏名・電話番号・親または子へのメッセージをお書きの上、下記までお送りください。抽選で10名の方にプレゼントを差し上げます。ご応募お待ちしております！

応募資格 会員(子)、ふるさと高齢者(親)

応募締切 平成29年9月30日消印有効

〒623-0012 京都府綾部市川糸町南古屋敷5-1  
綾部市社会福祉協議会「ふるさとクイズ」係

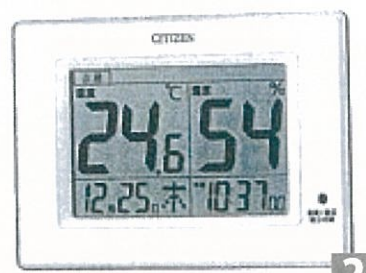
※応募に関わる個人情報については、当選者の発表及び本会の運営・紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

余ったひらがな

あ	み	せ
え	の	も
に	ほ	き
せ	こ	ち
お	い	み
て	ふ	さ
	ち	に
		こ

守る会  
アルバム

2016



# 平成29年度 ふるさと綾部の老人を守る会事業計画

「ふるさと綾部の老人を守る会」は都市と村部の支え合い、そして地域の中での住民同士の助け合いの一つの形として、全国に先駆けて昭和46年より活動をすすめてきました。

近年、綾部でも「地域の人と顔を合わす機会が少なくなってきた」、「普段4～5軒先の人の顔を見ない」等の声が聞かれるようになりました。

住民同士で出来ることとして、声掛け・見守り活動やサロン活動などが広まっています。

その中で、ふるさと綾部の老人を守る会では、支部単位の交流会をすすめており、交流会開催にあたって

話し合い、開催日が決まれば誘い合い、当日の楽しみと生まれたつながりが開催後にも続いています。

今後、一つでも多くの地区で開催し、つながりの輪や喜びの音が広まるように取組をすすめていきます。

以下主な事業を紹介します。

- 運営委員会の開催  
4/6、6/12、1月の予定
- 高齢者の交流事業の開催  
・春のバス旅行(実施済み)  
・あやべ寄席(1月～2月の予定)
- 会報の発行
- 支部活動の実施(随時)
- その他 傘寿のお祝い、等

## 平成29年度 ふるさと綾部の老人を守る会 予算

＜収入の部＞ (円)		
科目	予算額	備考
会費	420,000	
寄付金	15,000	
参加費	1,200,000	バス旅行参加費
繰越金	110,119	
計	1,745,119	

＜支出の部＞ (円)		
科目	予算額	備考
旅費交通費	10,000	委員会旅費
消耗品費	15,000	事務用品
通信運搬費	4,000	会報等の郵送
賃借料	50,000	
業務委託費	1,350,000	バス旅行・家庭連絡員
手数料	15,000	会費振込手数料
損害保険料	6,000	バス旅行行事保険
雑費	30,000	慶弔・傘寿祝い
助成金支出	50,000	支部活動費・寄席参加費
予備費	215,119	
計	1,745,119	



## 平成29年度 ふるさと綾部の老人を守る会 運営委員名簿

氏名	備考
野々垣 幸夫	奥上林支部
小室 淑子	中上林支部
永井 忠之	口上林支部
廣瀬 泰千	山家支部
岩本 貞子	東八田支部
白波瀬 美千代	西八田支部
梅原 綾野	綾部中部
小林 満津恵	綾部南部
宮部 均	綾部西部
岡 洋子	志賀郷支部
塩見 一雄	豊里支部
森下 博	中筋支部
田中 丈夫	老人クラブ
新井 玲子	民生児童委員
久田 名美恵	民生児童委員
諏訪 博幸	綾部市
高本 克男	社協理事
山下 宣和	社協理事

- 運営委員長 廣瀬 泰千  
 副運営委員長 野々垣 幸夫  
 副運営委員長 宮部 均  
 副運営委員長 塩見 一雄

# 支部活動

## 顔なじみの関係づくりを進める支部活動を広めています。

ふるさと綾部の老人を守る会では、春のバス旅行等の全体の交流会の他に、最寄りのふるさと高齢者同士が親睦を図るために集い交流を深める支部単位の活動を開催しています。支部活動をすすめるにあたっては、支部の運営委員(支部長)が中心となって企画し、地元の民生児童委員(ふるさと綾部の老人を守る会においては高齢者家庭連絡員としてお願いしています)のみなさまには、連絡・案内から開催に至るまで、大変ご協力をいただいております。紙面をお借りし厚くお礼申し上げます。

### 「参加することを本当に楽しみにしていました」

山家支部長：廣瀬 泰千

- 日時：平成29年7月7日 ●場所：三和荘
- 参加者：39名 [ふるさと25名、民生委員10名、一般3名、社協1名]
- 内容：会食、交流、ビンゴゲーム



写真1 会食やビンゴゲームで盛り上がる会場。各民生児童委員様が参加者のお話を聞いて回られました。「こういう機会が無いと出かけることが少なくなってきた。皆で誘い合った」等の声。2 「ふるさと」を合唱する様子。指揮は廣瀬支部長。

# 中上林支部

### 「みんなに出番を分担すると達成感があって楽しい」

中上林支部長：小室 淑子

予定

開催決定

- 日時：平成29年12月1日(金) ●場所：観光センター(中上林)
- 対象：入会中の人、お試し入会の人 ●送迎：福祉バス
- 内容：認知症の講演、参加者による寸劇、会食、足湯、ゲーム等



小室支部長と中上林民児協伯耆裕美子理事が打合せ会議を行われました。「遠出は出来ないけど近くなら参加したい」「認知症の勉強をしたい」などふるさと高齢者の声を元に企画。参加者の出番を意識したプログラム作りが盛り上がりました。開催当日が楽しみです。

# 見守り 新鮮情報

**事例1** 家族が14時過ぎに帰宅すると、**室内の冷房が止まっており、高齢の母親がベッド上でけいれんし意識がなかったため救急車を呼んだ。**（当事者：90歳代 女性）



**事例2** 訪問介護に行ったところ、**蒸し暑い室内で被介護者が倒れていた。意識がなかったため救急車を呼んだ。**（当事者：80歳代 女性）

## 室内でも熱中症 予防を心がけましょう

### ひとこと助言

予防しよう



- 高齢者は室内で熱中症になるケースが目立ちます。エアコンや扇風機を上手に使用して、高温多湿にならないよう注意しましょう。
- 高齢者は暑さやのどの渇きを感じにくくなっているため、自覚がないまま重症となる傾向があり、より一層の注意が必要です。
- のどが渇いてから水やお茶を飲むのではなく、あらかじめ時間を決めるなどルールを決めて意識的に水分をとるようにしましょう。
- 熱中症を疑う症状がある場合は涼しい場所に移動させ、衣服をゆるめて体を冷やし、水分と塩分を与えるようにしましょう。意識がない場合は救急車を要請しましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第255号（2016年6月14日）発行：独立行政法人国民生活センター

## 平成28年度 決算報告

### 平成28年度 ふるさと綾部の老人を守る会 決算報告

<収入の部>

科目	28年度予算額	28年度決算額	備考
会費	450,000	354,000	
寄付金	15,000	0	
参加費	1,100,000	1,208,000	バス旅行
雑収入	0	32,395	訪問見守りボランティア強化事業助成金32,000円
繰越金	210,554	210,554	
計①	1,775,554	1,804,949	

<支出の部>

科目	28年度予算額	28年度決算額	備考
旅費交通費	10,000	23,200	委員会旅費
消耗品費	45,000	12,981	厚紙(会報、しおり)
印刷製本費	0	0	
通信運搬費	4,000	29,554	会報・会費払込用紙郵送
賃借料	50,000	3,220	バス旅行下見高速料
会議費	0	0	
業務委託費	1,400,000	1,449,040	バス旅行・あやべ寄席送迎
手数料	15,000	16,890	会費振込手数料
損害保険料	5,000	6,600	バス旅行行事保険
雑費	30,000	66,745	慶弔、傘寿祝い
助成金支出	50,000	86,600	支部活動費 寄席参加費助成
予備費	166,554	0	
計②	1,775,554	1,694,830	

①-② 1,804,949-1,694,830=110,119  
110,119円を29年度に繰り越します。

### ふるさと高齢者の 登録状況(平成28年度末現在)



**写真1** 春のバス旅行をはじめ、会活動について運営委員会で協議している様子。委員は地区毎のふるさと高齢者(親)や関係機関から選出されている。小グループに分かれるワークショップ形式で積極的に意見交換を行った。  
**2** 傘寿(80)歳になられたふるさと高齢者へお贈りした湿温度計。  
**3** 会報78・79号。**4** あやべ寄席にふるさと高齢者66名で参加し「生のお笑い」で沢山笑った。**5** 中上林支部では福祉バスで映画観賞に行った。**6** 口上林支部では宮津市まで小旅行をした。**7** 綾部地区では初めて支部活動を行った。開催前から心待ちにする声が聞かれた。**8** 山家支部では三和荘で恒例のビンゴゲームが盛り上がった。